

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	西澤 伸太郎	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	子ども部会	
日時	令和 4 年 4 月 13 日(水) 10時00分～12時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 7 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 就学説明動画について		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 受診サポートカードについて		
	⑤ その他 医療的ケア児学校等訪問看護事業について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>次第に従って各項目について検討した。</p> <p>① 振り返り コーディネーター研修について。福祉との連携、放課後等デイサービスについて知らない先生もいるので参考になった。</p> <p>② 就学説明動画について <b>【子育て支援課より進捗の説明】</b> 去年と同じ形で実施する。動画の市 HP の同じ場所。保護者に分かりやすいように、視聴の多い時期は新着情報に挙げる予定。周知については、事業所の利用者(84 名)には案内チラシを配布済み。広報 4 月号に掲載。</p>		

・学教としても、保育園園長にお知らせする。また幼稚園にも園を周りながら伝えていく。動画で説明会を視聴するようになり、学校教育課に続々と相談が集まるようになっている。早めの相談が増えている。相談票を持参される保護者も多い。

・以前は放デイを仲介していたが、直接相談できるようになり、相談がスムーズになったと感じている。

・放デイとしても新 1 年生の見学の申し込みの時期が早まっていると感じる。

→来年度も同じ流れを踏襲する予定。

### ③ 特別支援教育コーディネーター研修

**【研修の開催時期や内容の方向性について議論がなされた】**

別紙(特別支援教育コーディネーター研修実施報告書参照)

・時期について。昨年はコロナ禍の影響で延期となり、1 月に開催。今年度はどうするか。

→夏休みの研修は通級指導教室について学ぶ研修に充てたい。もう 1 回が 3 学期になると思う。

・内容について。子どもたちの就学先について学びたいという声がある。事業所就労説明会が開催されるので、そちらで学びたいという意見が(教職員から)出ている。——(説明会とは: 保護者へ福祉サービス制度やアセスメント実習、就労説明動画の紹介に加え、事業所から直接説明がある)。

・コーディネーターは今年度は、15 人中 14 人が継続。

・前回参加者多いということで、1 ステップ上の内容が求められるのでは。

・前回は結果として1月開催になり、研修準備に時間をかけることができて良かった。

・先生が何を求めているか、知ることができると良い。事前にニーズを確認する。

・進路・卒業後について知りたいというニーズはある。——事業所も卒業後について詳しいわけではないのでは。

・特別支援学校について知りたい。各学校の事情を知りたい。

・三好特別支援学校で毎年 7 月に研修を開催しており、圏域の市町の先生(特別支援学級担任中心に)参加してもらっているが、特別支援教育コーディネーターの先生や事業所にも参加してもらえると良いのではと感じた。

・継続的な支援という意味では、日進市では幼保から小学校に上がるところで支援体制が弱くなっているという議論が以前からされている。先を見据えた支援を考える上でも、下から積み上げていく研修を考えてはどうか。

・昨年の研修で架空事例を通して連携について考えたのが伝わりやすかったのでは。それをさらに掘り下げてはどうか。また昨年の研修のフォーマットを利用して、他事業所を紹介するのはどうか。

今後も継続して議論。

#### ④ 受診サポートカード

【受診サポートカードの改善に向けての議論がなされた。】

・作成当時、すくすく園利用保護者に配布した。また小児科中心に病院を廻って配布・説明している。

・日進市障害者福祉計画(5年計画の4年目)の内容に該当している内容なので、今後も検討が必要。

・以前にすくすく園利用保護者にアンケートを取った。150部配布して、回答66部。そのうちサポートカードを知っているのは42名いたが、利用したという回答は2名だった。実質殆ど利用されていない。

・サポートカードの入手方法について。社協HPから入手できるはずだが、社協のHPがリニューアルされた影響でHPトップページには無くなっている。

・配布したのは作成初年度、すくすく園利用の保護者のみ。→何らかの形で保護者に配布するやり方ができないか。

・すくすく園入園後の配布では、すでに病院とつながりがある保護者が多いので、ニーズにあっていない。→1,2歳児くらいの、病院につながる前の保護者が最も必要としているのではないか。

・障害を前提に医療中心とした周知にするのか、困り感をもとに保護者全体に周知するのか、どちらが適切か議論が必要。

・保健センターで乳幼児の保護者に周知・配布する機会を作ることはできないか？ →保健センターでは既に周知すべき事柄が多すぎるし、健診等で個別に声掛けして説明することは難しい。

・内容について。箇条書きで一目では分かりづらい。支援者も読み解くのが難しいのでは。→絵で見て必要な支援がぱっと分かる内容がよいのでは。

・個々にニーズが違うので、ニーズに合わせた分かりやすいカードを作るのには、何らかの見本が必要なのでは。

→現行のサポートカードの周知そのものがいきわたっていないので、まずは適切に周知する方法を考える。その上で改善点を考えるための情報収集を行うことが、当面の目標。今後検討。

#### ⑤ その他

医療的ケア児学校等訪問看護事業について

・子育て支援課：現在1人の児童について検討中。現在の学校と訪

	<p>問看護との間で調整を行なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校教育課： 現在制度の確立に向けて動いている。対象児については調査中。学校教育課に窓口を作っていく。</li><li>・受入対象として特別支援学校を入れてほしい。</li><li>・+知的障害児で医療的ケアが必要な児の受け入れはしているのか？ →まだ議論していない事柄。現状は看護師がおらず、難しさがある。今後検討。</li></ul>
次回開催日時	令和4年6月15日(水) 10時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	子ども部会	
日 時	令和 4 年 6 月 15 日(水)10時00分～12時00分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 事業所見学バスツアーについて		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 受診サポートカードについて		
	⑤ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>次第に従って各項目について検討した。</p> <p>① 振り返り</p> <p>・医療的ケア児について、竹の山小で学校等訪問看護事業を実施の方向で動いている。日進市在住で市外の学校(三好特別支援学校など)に通っている児も対応可能。中学までが対応可能であり、現在高等部以降は要綱上対象外となっている。</p> <p>② 事業所見学バスツアーについて</p> <p><b>【バスツアーの対象年齢や開催内容について議論がなされた】</b></p> <p>・今年実施するか否か。現在、10月20日(木)と10月25日(火)にバスの仮予約はとってある。バス自体の定員は25名だが、例年10名の定員となっている。</p>		

・就労部会でも例年バスツアーがあるが、今年はやらない方向で、説明会のみ実施。説明会では事業所を実際に見ることはできないため、バスツアーを行うことに需要はあるのではないか。事業所に個人で連絡取る人も少ないため、そのような機会があっても良いのでは。

→今年を行う方向でいくが、まずは受け入れ先があるか事務局で当たって、次回報告し決定する。

・お母さんたちはA型やB形の仕組みについてそもそも知らない人も多いと聞く。事業所の仕組みについても説明があると良い。事業所の種類としては生活介護、A型、B型の3種類に決定する。

・対象年齢について。高校生を入れるか否か。今年就労部会のバスツアーもないから希望者は多そう。実際は、高校3年生では進路について決まっている人が多く、高校2年生で決まっていなかったのが遅いくらい。高校1年生を含めても良いのではないか。

→対象は小学校4年生～高校1年生とする。

### ③ 特別支援教育コーディネーター研修

#### 【研修の内容の方向性について議論がなされた】

・去年の内容の振り返りと事業所交流会からの意見を報告した。

・どのような内容にしていくか。ほとんどが前回と同じ参加者であるため、一歩進んだ内容にすべきではないか。

・事業所としても就労について聞かれても分からない面が多い。

・多様な道を考えてその子に合わせたものを提供することが必要。学習だけでなく身辺自立や挨拶など基本的なことができていないことも多い。

・事業所としても学校ではどういうことをしてくれるのか分からない部分がある。事業所よりも学校で過ごす時間の方が長いからこそ、学校でベースが作れると良いのではないか。

・発達段階(特に幼児発達)を現場の先生は知らないといけないものであるが、現実としては知らない先生が多いのではないか。

・今の段階でその子に何が支援として必要なのかは就労することに繋がるのではないか。

・グループワークとか入れてそれぞれの立場で話すことを内容の中に入れても良いのではないか。

→どのような内容で組み立てていくかは次回も検討。

### ④ 受診サポートカード

#### 【受診サポートカードの周知や内容について議論がなされた】

・発行されているが、実際にはあまり使われていないため、まず周知させていくことが必要。

・療育を受けている方や施設に置くのみで新しい方に配布ができていない。医療機関への配布もここ数年はできていない。

- ・アンケートからも受診する際に困っている方が多いにもかかわらず、なぜ使われていないのか。もしかしたら困っているという自覚がない親が多いかもしれない。
- ・保険年金課としては、受診サポートカードの物さえあれば、医療証を発行した際に渡すことは可能。ただし、部数が膨大になることや実際どれだけできるかは不明。
- ・保健センターとしては、特性がありそうなお子さんには渡したい気持ちがあるが、カードに障害等の記載があり、渡すことにハードルがあるため、慎重になっている。医療機関がどのように対応してくれるか分からないこともあり、拒否されてしまうのではないかと考えてしまう方もいるかもしれない。また、予防接種の為、生後 2 ヶ月でかかりつけ医が決まりやすい。
- ・障害がある、ないで判断するのは日進市の方針と食い違うのではないか。しかし、合理的配慮については制度的な説明で入れないといけなかった。→カードの見直しが必要？どちらにせよ QR は変更が必要なため、少し変更して配布しても良いのではないか。
- ・受診サポートカードを作るにあたって平成 29 年にアンケートを実施している。再度確認してもう一度生かせないか。→次回配布予定。
- ・広報に載せて周知させても良いのではないか。以前、一度広報に載せたことはあるが、市民向けに周知させる目的も含めて、再度広報に載せても良いのではないか。目にすることで利用者が増えることにも繋がるかもしれない。
- ・すくすく園でも最近を受診サポートカードについて聞かれることがあまりない。ヘルプマークの普及が広がっているのもあって、受診サポートカードよりもヘルプマークを使う人が増えているからかもしれない。

#### ⑤ その他

##### 第 1 回日進市障害者自立支援協議会について

- ・資料を参考に今年度のテーマと実施状況について、全員で内容を確認し、少し内容を修正した。当日は、部会長である澤田さんに発表して頂く。

##### 事業所交流会について

- ・事業所の方の意見を活発に発表して頂いている。事業所交流会での内容について、今後、事業所交流会の幹事が子ども部会長の澤田さんと内容を共有して頂き、子ども部会で報告していくこととする。

次回開催日時	令和 4 年 7 月 14 日(水) 10 時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 3 回	子ども部会	
日時	令和 4 年 7 月 14 日 (木) 10 時 00 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 事業所見学バスツアーについて		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 受診サポートカードについて		
	⑤ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>次第に従って各項目について検討した。</p> <p>① 振り返り</p> <p>② 事業所見学バスツアーについて 【バスツアーの開催内容について議論がなされた】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ先について事務局で当たったところ、愛歩(生活介護)・ネクストステージ赤池(就労継続支援 A 型)・クルーサ(就労継続支援 B 型)の 3 つの事業所となった。クルーサについてはその日の天気によって、内容が変わるため、直前に相談して内容を決める。</li> <li>・事業所の順番としては、各事業所の住所も加味し、ネクストステージ赤池→愛歩→クルーサとする。</li> <li>・2年間バスツアーを行っていないため、どの程度希望者が集まるのか。</li> </ul>		

定員をどう設定するのか。バスの定員ギリギリまでバスに乗せるのか(バスの定員は 25 名だが、感染対策で席の間隔をとる形)、ゆとりをもってバスの予約をとっている 2 日間で開催するか。

・引率としては日進市手をつなぐ育成会から 1 名、事務局から 2 名、市役所から 1 名の合計 4 名。

・コロナ禍ということもあり、1 日に大人数で行くことは困るのではないかと。2 日間の日程について、事業所には了承済み。

・どれだけ人数が集まるかにもよるが、毎年定員より希望が多くなることは無い。しかし、6 月に行われた就労説明会はたくさんの方に参加していただき、大盛況であった。参加された親御さんから「各事業所から話を聞くことができたが、もっと話したかった。子どもの年齢が低くなると個別で事業所に連絡しづらさがある。」という話も聞いた。

→2 日間開催し、各日程の定員は 10 名とする。20 日(木)と 25 日(火)のうち第 1 希望と第 2 希望等を書いてもらい、人数が偏るようなら調整する。

・サービスの種類についての説明をした方がいいとの意見が出ていたが、チラシにも説明はつけて、バスの移動中に口頭でも説明するのはどうか。

・就労部会が作成した「福祉的就労説明&事業所紹介動画」が分かりやすかった。QR コードをチラシに付けることで見直しすることができ、周知にも繋がるのではないかと。申し込みをする際にチラシは提出してしまうため、持ち帰るものとしても用意する。

→QR コードについて就労部会に許可をとりチラシに添付する。

・配布先については、各事業所や学校に 9 月に配布予定。広報には 10 月に載せる。

・保護者も早い段階からお子さんの就労について関心が高まっており、日進市に事業所が少なく心配する声もある。たくさんの方に応募していただけると良い。

・コロナの広がり方も含めて最終的に実施するか判断は事務局に一任。

### ③ 特別支援教育コーディネーター研修

#### 【研修の内容について議論がなされた】

・特別支援の教員から就労については興味があり、特別支援の子どもたちが卒業してから社会に出るにあたってどのようなところがあるのか、どういう風になっていくのかという就労の流れに関心がある。

・14:00～16:00 の時間だと放デイの職員が出席できるのか。発達段階を学んでも実際に適切なことができていくかは難しい。今後のことも考えて連携できる場所もあると知れるのは大切。教員も踏み出すべきであるが、時間が無いとも聞く。

・去年の研修では参加した放課後等デイサービスの数は 3 事業所。

事業所交流会で参加について声掛けをする予定。

- ・グループワークについては、教員からも他の職種の方と話す機会がないためやってみたい気持ちがあり、興味深い。学校も小学校・中学校色々な視点からプレゼンすると良いと思う。

- ・各発表を重なりそうで重ならない感じで出来たらいいのではないかな。枠や型を作ってそれに沿ってやってもらえば作りやすいのではないかな。

- ・冰山モデルを用いるのはどうか。見た目的にも分かりやすい。

- ・学校は勉強をするところではあるが、生きる力がベースとなる。特別支援はより多様な支援が必要で先生個人の力量が必要となる。

- ・学習指導要領に自立活動について、特性のあるお子さんにどんな教育をするのか6区分27項目で書かれており、特別支援教育で必須とされている。

- ・普通級でも支援が必要な児には支援計画を作られていると聞く。学校での支援計画とサービス利用のための支援計画が繋がって行くと良いと思う。

- ・実施日については、1月11日(水)か17日(火)のどちらかで検討。

→次回も引き続き検討。

#### ④ 受診サポートカード

**【受診サポートカードの周知について議論がなされた】**

- ・どのように周知をしていくか。今あるものをどのようにしていくか。お問い合わせ先やQRコードを変更するなど微調整は必要。

- ・以前配布したクリニックには今もカードは置いてあるのか。配布した当時から多くの掲示物があったため、紛れてしまっているかもしれない。今は置いていないところもあるかもしれない。

- ・障害という言葉について、無くすのか書き方を変えるのか。合理的配慮については病院に意識してほしい。

→次回、修正案を作成し、部会内で見ていただく。

- ・大きさについてどうするか。A4だと持ち運びにくいという意見もあるが、逆にB5など小さくしてしまうと文字がつぶれて見えにくくなるのではないかな。

→まずは手に取ってもらうために大きさはそのまま変えずに作る。

- ・配布場所について、1~2歳の小さいお子さんが行くような場所では配布するのがいいのではないかな。前回の配布先一覧を参考に検討し、子育て支援センターを追加し、合計18か所に配布する。保育園の数等の正確な数字は再度確認する。

#### ⑤ その他

- ・みんなの勉強会の開催のお知らせをした。

次回開催日時	令和4年10月19日(水) 10時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	子ども部会	
日 時	令和 4 年 10 月 19 日 (木) 10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 10 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	愛知医療的ケア児支援センターの紹介(徳田さなえ様より)		
	① 振り返り		
	② 事業所見学バスツアーについて		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 受診サポートカードについて		
	⑤ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>最初に愛知医療的ケア児支援センターの徳田様よりセンターの紹介がなされた。</p> <p>① 振り返り ・第 3 回の子ども部会の振り返りを行った。</p> <p>② 事業所見学バスツアーについて 【バスツアーの開催内容についての確認がなされた】 ・バスツアーの申し込みが 10 月 7 日(金)に締め切り、希望者は 18 名。 1 日目に希望者が集中してしまったが参加者の希望をできるだけ汲み取り、引率をふくめて、1 日目が 16 名、2 日目が 13 名となった。 ・クルーサの見学内容について当初は畑の見学が予定されていたが、時間がかかるため、事業所のみの見学となった。 ・移動時には事業所説明動画やサービスの種類の説明を行う。</p>		

③ 特別支援教育コーディネーター研修

【研修の内容について議論がなされた】

- ・研修の大まかな形としては事例とディスカッションとする。
  - ・開催場所について、グループワークでディスカッションを行うため、駐車場を利用可能なことから、市民会館での開催とする。
  - ・実施日については、1月17日(火)14時～16時とする。
  - ・参加予定人数は、学校は最大で15名。事業所から数名、三好特別支援学校から1名、センターから相談員など数名参加予定。
  - ・事例について、コーディネーターの先生に事前アンケートを配布し、4～6つの事例を選定。
  - ・グループごとに事例についてディスカッションを行い、最後にまとめとして各グループで学んだことを発表する場を設ける。
  - ・2時間の研修で時間配分については、例年ディスカッションの時間を長くにとって欲しいという意見があったため調節。前回の振り返り・今回のコンセプトの説明を15分、各グループで事例発表・ディスカッション1.5時間、各グループの発表と振り返り15分とする。
  - ・アンケート等の構成や内容については学校教育課の近藤先生と打ち合わせを行い事前に準備を行う。
- 次回の部会で内容を再度検討する。

④ 受診サポートカード

【受診サポートカードの内容について議論がなされた】

- ・「障害」という言葉があることで使いづらい意見があるため、合理的配慮の表記は削除。裏面の「作成：日進市障害者自立支援協議会子ども部会」については、名前の大きさを小さくする。
  - ・イラストについて(看護師のナースキャップ等)の修正について検討。
  - ・裏面の「障害・診断名」は、問診表と重複すると考えられるため、削除。
  - ・裏面の「苦手なこと・もの」を削除。
  - ・医療機関には、別紙で合理的配慮についての文書や日進市の差別防止法についての文書を添えてはどうか。
- 修正案を次回の部会で提示。

⑤ その他

- ・子育て支援課より「障害者差別解消法講演会」の開催のお知らせがあった。

次回開催日時

令和4年12月21日(水)10時～

次回会場

障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	子ども部会	
日 時	令和 4 年 12 月 21 日 (水) 10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 事業所見学バスツアーについて		
	③ 受診サポートカードについて		
	④ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	⑤ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>次第に従って各項目について検討した。</p> <p>① 振り返り</p> <p>・第 4 回の子ども部会の振り返りを行った。</p> <p>② 事業所見学バスツアーについて</p> <p><b>【バスツアーの実施報告がなされ、参加した部会員から感想を聞いた】</b></p> <p>・コロナウイルスの感染対策の関係で日程が半日になったことで時間が限られてしまったため、以前に比べて保護者同士の交流をする機会が少なく残念であった。</p> <p>・対象年齢を下げたことで小学生を持つ親御さんも参加しやすくなり、参加者の年齢層も以前より下がっていた。</p> <p>・就労部会が開催しているバスツアーとの線引きについても今後検討し、来年も開催できたらと思う。</p> <p>→来年度も開催の方向で進めていく。</p>		

③ 受診サポートカードについて

**【受診サポートカードの修正案を基に議論がなされた】**

- ・11 月に開催された自立支援協議会本会でサポートカードについて意見・感想が出たため共有した。
- ・「にっしんの表現指針」を参考にチラシ表面のイラストの修正点を確認し、次回の部会で修正したものを確認する。
- ・大きさは公共施設に置きやすい点を考慮し今までと同じ A4 サイズとする。
- ・受診サポートカードの配布と合わせて合理的配慮について伝えられると良い。
- ・周知については前回の部会で提示した配布一覧のほかに、前回の配布の際に医師会や歯科医師会で周知を行ったため、今回も同じようにできたらと思う。次回の開催日程や必要書類などを確認し進めていく。

④特別支援教育コーディネーター研修について

**【研修の内容について議論がなされた】**

- ・研修内容について再度確認し、より分かりやすい形に変更。
- ・アンケート結果を基に事例検討の内容について確認を行った。
- ・8 事業所から参加予定。各事業所の参加者については事務局が再度確認する。
- ・グループについては後日打ち合わせを行い、グループ分けを行う。
- ・主旨等については事前に電話かメールでお伝えする。
- ・事例検討を行う上での注意事項について確認した。

⑤その他

- ・権利擁護部会より障害者虐待防止法の勉強会のお知らせとケアマネジメント部会より発達支援の勉強会についてお知らせがあった。
- ・子育て支援課より医療的ケア児について報告があった。12 月に療育支援会議があり、医療的ケア児の把握を再度行うこととなった。その結果新たな課題が分かり今後検討していくこととなった。

次回開催日時	令和 5 年 2 月 15 日(水) 10 時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	西澤 伸太郎	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	子ども部会	
日時	令和 5 年 2 月 15 日(水) 10時00分～12時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り( 名:別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 特別支援教育コーディネーター研修について		
	③ 受診サポートカードについて		
	④ 就学説明動画について		
	⑤ 来年度の検討議案について		
	⑥ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>次第に従って各項目について検討した。</p> <p>① 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 5 回の子ども部会の振り返りを行った。</li> </ul> <p>② 特別支援教育コーディネーター研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と異なる形の研修に対して、良かったという反響があった。</li> <li>・実りある会になった。連携を大切にして、関わりを実感できる研修を継続したい。</li> <li>・来年度も、同様の研修会を継続したいとの希望あり、引き続き検討していく。</li> <li>・研修の時期を早められると、先生方が研修で得たことを直接活かすことができるのではないか。</li> </ul>		

③ 受診サポートカードについて

- ・前回の議論を受けて修正したものを作成。イラストを変更し、裏面をシンプルにしている。問い合わせは子ども発達支援センター。
- ・周知は、保健衛生会議、歯科保健衛生会議で医療機関向けに周知する予定。社協ホームページに掲載することについて希望されない場合は事務局に申し出てもらうことになっているので、切の 2 週間が過ぎたら受診サポートカードを印刷し、各関係機関や保護者に配布をしていくため、印刷や配布は 4 月以降になる予定。

④ 就学説明動画について

- ・昨年作成した資料を添付する。

⑤ 来年度の検討議案について

- ・来年度会長: A Light山本さん、副会長は未定。
- ・不登校の対応について。コロナの影響もあってか、増えている印象。低学年の不登校も増えているのでは。事業所としても、不登校傾向の児童が増えている実感がある。対応が難しい。対応の仕方を知りたい。子ども部会でどう取り組んでいけるのか、成果を出せる課題なのか疑問。保健センターにも保護者から小学校の不登校に関する相談がある。特別支援で上がってくるケースと共通のものがある。
- ・保護者に支援を伝える時の、発達に関するベースとなる知識があるとよいのでは。
- ・バスツアーを継続していきたい。
- ・サポートブックの周知をはかりたい。切れ目のない支援に課題がある。教育と福祉の連携にも課題がある。
- ・学校として、子どもたちが幼少期に療育をどう受けているかが不透明。
- ・週末の支援。親子で過ごせる場所に関する地図など情報提供があると良いのでは。
- ・福祉と教育の連携に関する相談の流れが分かる図(チャート)に関して、不登校対応も含めたものがあるとよい。

⑥ その他

- ・R5 年度のスケジュールの確認。

次回開催日時	令和 5 年 4 月 19 日(水) 10 時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室